

【基本施策の目的】







健康づくりの一環として、だれもが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツを楽しむことができるよう、スポーツを生活の中に取り入れる環境(仕組み)を整えます。


【基本施策の今後の優先度】

中	基本施策の指標値は基本的に横ばいであるものの、ハード・ソフトの面からスポーツ人口の拡大に取り組んでいるが、現状の取り組みを維持していきながら、スポーツ人口の拡大に取り組む方針である。 しかし、当面は現状の取り組みをしっかりと進めていく予定であり、同一分野内における他の基本施策との比較の結果、「中」と判断した。
---	--

【指標の分析と今後の対応】

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	今後の対応	
市民(成人)の週1回以上のスポーツ(運動)実施率	%	実績	37.6	38.4	41.1	34.0	市のスポーツ関連事業や体育協会の事業を推進したが、実績値が7.1%下落した。20代～40代の女性の実施率が低い傾向にある。今後は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えており、スポーツが注目されると考えられるので、レクリエーションスポーツなど誰でも実施できるスポーツを普及することで、スポーツ実施率が向上することが見込まれる。	市民(成人)の週1回以上のスポーツ(運動)実施率を50%以上とするため、引き続き、スポーツ人口の拡大に取り組む。	
		目指す方向性	↗						
体育施設の年間利用者数	人	実績	1,265,499	1,268,882	1,275,965	1,250,934	市のスポーツ関連事業や体育協会の事業を推進しているが、体育施設の年間利用者数は、やや減少している。比較的、土日祝日の体育施設の利用率は高い水準で安定しているため、現状の実績値と比較して、今後も横ばいになる見通しである。	市民総スポーツを推進するため、引き続き、スポーツ人口の拡大に取り組む。	
		目指す方向性	↗						
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直し内容	
1 スポーツ活動の機会を充実します	%	各種スポーツ教室・講座参加者満足度	実績	88.5 (H26年度)	/	85.0	87.4	親子ふれあい体操教室の満足度が高いので、今後も高い水準で満足度を維持する。	他の教室と比べて、クラブマネージャー養成講習会の満足度が低いので、受講生にとって魅力ある内容に努める。
			目指す方向性	↗					

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直し内容
1 スポーツ活動の機会を充実します	人	実績	17,121	17,848	16,968	16,745	平成28年度から小牧市グラウンドゴルフ協会が、市体育協会の加盟団体から脱退したため、レクスポ小牧(※レクリエーションスポーツ大会)において、グラウンドゴルフ競技を開催しないこととなったので参加者数が減少した。今後も増加に向けた努力を求めている。	引き続き、スポーツ大会の周知に努める。
		目指す方向性						
	人	実績	2,995	3,422	3,097	2,826	体育協会主催のスポーツクリニックの参加者数が減少した。今後は増加に向けた努力を求めている。	H26年度は、臨時的な教室があり一時的に増加したが、引き続き、スポーツ教室の周知に努める。
		目指す方向性						
%	実績	63.1	58.7	63.1	59.4	スポーツ振興会(地域スポーツ団体)の活動は、運動会・スポーツ教室・学校開放事業などを実施しているが、それらの活動のPRに努め、各小学校区内で知名度を上げていく。	身近な地域でスポーツの場を提供するため、引き続き、スポーツ振興会(地域スポーツ団体)を支援する。	
	目指す方向性							
人	実績	112	204	189	147	スポーツ推進委員を対象としたAED講習などを開催しなかったため、やや参加者数が減少した。今後も増加に向けPRに努める。	スポーツ人口の拡大に努めるため、スポーツ指導者を養成していく。	
	目指す方向性							
2 スポーツ施設を計画的に整備します	%	実績	88.9 (H24年度)	68.3	85.3	90.3	適正な施設整備を進めてきた結果、利用者の満足度は概ね良好である。	利用者が、スポーツ公園運動施設を安全に使用するために、利用者のニーズに合う施設の改修を行う。
		目指す方向性						
	%	実績	75.0 (H24年度)	65.7	73.7	87.3	適正な施設整備を進めてきた結果、利用者の満足度は概ね良好である。	利用者が、南スポーツセンターを安全に使用するために、利用者のニーズに合う施設の改修を行う。
		目指す方向性						

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直し内容
2 スポーツ施設を計画的に整備します	%	実績	72.7 (H26年度)		76.7	68.5	県内で有数なレジャープールであり、概ね利用者は満足しているが、設備の老朽化もみられるので、満足度が減少したと考える。しかし、スライダーなどの遊戯設備が充実しているため、高い満足度を維持すると期待できる。	利用者が、温水プールを安全に使用するために、利用者のニーズに合う施設の改修を行う。
		目指す方向性						

経常事業	削減に関する具体的な考え方	展開方向1	<p>オープン戦開催事業(生涯スポーツ推進事業の1事業)は、これまでの取り組みの結果、一定の成果が出ており、事業費を削減しても今後も一定の成果を見込めることから、事業費の一部を削減する。</p> <p>学校体育施設開放事業は、市内体育施設の不足を補うために、小中学校の体育館・運動場・プールを開放してスポーツを行う場所を提供しており、一定の効果が見られたと考えるので、来年度も前年度並みに必要であると判断している。</p> <p>スポーツ教室開催事業は、幼児や高齢者を対象としたスポーツ・レクリエーションを主とするスポーツ教室を開催しており、講座の申し込み状況についても定員を超えているので、来年度も前年度並みに必要であると判断している。</p>
		展開方向2	<p>各種の施設整備事業については、これまでの改修工事の結果、利用者が安全・安心して体育施設を利用できており一定の成果が見込めることから、今後も継続的に資源の投入が必要であると判断している。</p>
実施計画事業	資源投入の考え方	展開方向1	<p>生涯スポーツ推進事業の中で、こども夢・チャレンジカップU-12(小牧市長杯)を実施している。この事業は、海外有名クラブによる国内各地のジュニアサッカースクールを招聘し、小牧市スポーツ公園サッカーグラウンドで交流大会を実施しており、「ACミランサッカースクール」を重要な地域資源と位置付けており、今後も、交流大会を通じて小牧市を全国に発信することができ、夢を育む環境を創出する成果が見込める。</p> <p>平成30年度には全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技(女子)を、パークアリーナ小牧で開催するので、資源投入を大幅に増やす必要がある。</p> <p>平成29年度からスマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」を活用したバーチャルウォーキング大会を実施しており、この大会は特に日ごろ運動不足の30歳代・40歳代の参加が期待でき、効率的にスポーツ実施率の増加が見込めるので、前年度並みに資源投入をする必要がある。</p>
		展開方向2	<p>総合運動場施設整備事業については、平成29年度でスコアボード改修工事が終了することから、大規模工事の経費が不要となるので、大幅に削減される。</p>